

生駒駅前 にぎわいづくり ワークショップニュース

第4回

平成25年11月16日
生駒市 開発部 地域整備課
環境経済部 経済振興課

第4回目は、15人のみなさんに参加いただきました。

これまで話し合ってきたベルステージでの活動のアイデアを整理した上で「4つのテーマ」が最初に示され、参加者はそれぞれ好きなテーマに分かれて、アイデアを具体的に掘り下げていきました。

今後は来年4月のオープンに向けて、並行して活動や運営についての検討が進められていきます。その全体像について事務局から説明がありました。

はじめに

今回初めて参加される5人の方から、自己紹介がありました。

また、ベルステージの運営の仕組み検討の全体像について、事務局から説明がありました。このワークショップと並行して、ベルステージでの「自主的な活動内容」の検討が始まり、またベルステージの「運営」の検討も進められていきます。



今日の話し合いのポイント

大阪市立大学 嘉名 光市 准教授

ワークショップのコーディネーターを務めていただく嘉名光市先生から、お話しがありました。

- 「いつも何かやっている」広場にしていこうということは、色々な人が色々な時期・時間帯に色々なことをしている状態を作り出すということです。まずはここにいるみなさんと、少しずつ実現していければいいと思います。
- 今日は、次のアクションに向けて具体的にアイデアを出していきます。限られたお金と人の中でやり繰りしていくための知恵を絞りましょう。また、うまく回すための課題についても、少し考えておいてほしいと思います。



グループワーク

前回の話し合いを踏まえ、ベルステージでの活動について、「誰が」「誰をターゲットに」「いつ」「どのように」「何を」「誰と一緒に」実施するのか、そのために必要なものやルール、広場から広げていくための工夫などについて話しました。

1班：井上さん、西島さん、伊藤さん（事務局）稲葉

「ふらっとよりみちができる活動」をテーマに、音楽の話を中心に話し合いました。メンバーに学生もおられたことから、「Mステ生駒」「学生のちょっと寄り道」のシートをもとに、アイデアを磨いていきました。



活動名	Mステ生駒＋学生のちょっと寄り道
いつ活動するか （曜日・時間帯・季節・頻度など）	<ul style="list-style-type: none"> • 平日の夕方から夜。第3〇曜日、といった形で定期的開催。 • 土日はイベント的に開催。
誰に来てもらうか （ターゲット）	<ul style="list-style-type: none"> • 帰宅途中の学生がちょっとだけ立ち寄るような形。 • 大和西大寺や学園前のスタバなどと比較されてしまう。生駒ならではの個性、売りがないとだめ。ただ、お店だけが魅力ではないはず。 • 友達が演奏していたら行くと思う。
どんなことをするか （活動内容）	<ul style="list-style-type: none"> • 広場で定期的に演奏の場を設ける。 「〇〇道場」通りすがりの人を対象にした大学の音楽サークルの腕試しの場。 「新歓ライブ」大学の音楽サークルの新歓ライブを行う。 「ベルステージからデビュー」ストリートミュージシャンを応援する。 「吹奏楽」生駒中学校の吹奏楽が有名。 • 演奏は2つのパターンがある。イベントとしてしっかりと聞いてもらう形と、BGM的に聞いてもらう形。前者なら演奏者を呼び込む形だが、後者なら募集する方法もある。
誰がやるか （協力者なども含め具体的に）	<ul style="list-style-type: none"> • マイサポいこまに登録している団体。 • おやしバンドなどは参加してくれないか。 • 帝塚山大学は3つの音楽サークルがある。ただ部室は1つで手狭なこともあり、場所があれば乗ってくれるかも。 • 奈良女子大学は4つの音楽サークルがある。奈良で「ナラソニ」というイベントの実行委員会をしている。「いこま〇〇実行委員会」という形で運営から参加する人を募っていく方法も有効ではないか。
活動するために必要なもの （設備や備品）	<ul style="list-style-type: none"> • ステージは？→築山を背に行う形ではないか。 • 客席は必要か？→イベント時は必要だが、平日などの流し的な形では不要では。立って聞く程度で良い。
活動の上でのルール （参加者に守ってもらうことなど）	<ul style="list-style-type: none"> • 音の問題はつきまとう。場所の特性上、ドラムなどは難しい場合が多い（イベントで時間を区切った形）。個人でアンプを持ち込む程度なら問題ない。 • 時間帯はルールとして決めるべき。

	<ul style="list-style-type: none"> • どのような形で参加してもらおうか。お金を払ってこちらからお願いする形か、トントン程度にするのか、あるいは費用も含めてバンドで持ってもらおう形とするのか。 • 一定の使用料金は取る方が、演奏の質も確保できるのではないか。 • こちらから来てほしいと頼んだ時に駐車場代などまで負担させるのは難しい。 • ノルマが発生すると、とたんに重荷になり続きにくい。 • 使用料金を取るとなると、少しのプレミア感（お得感）がなければならぬ。チラシ、ポスターを掲出するのは必要として。 • 広場の広報、広告機能をどう考えるのか。
広場から周辺へ広げていく工夫	<ul style="list-style-type: none"> • 広場で演奏するミュージシャンが、南側の商店街のイベントに派生していく展開はあり得る。 • チンドン屋的に？広場から演奏しながら商店街の方へ移動していく催しができたら面白い。 • 伊丹では「オトラク」といってバルの時に演奏者が店をまわる取り組みがなされている。
私ならこう関わりたい・こういうことなら私もできそう	<ul style="list-style-type: none"> • サークルの知り合いに声をかけてみることはできるかも。

このほか、「駅周辺 ステキなお庭散歩道」についても、

- 鉄道会社のウォーキングイベントの起終点にしてもらってはどうか。
- お店の情報の他、ベルステージそのものの情報「ここでいつ、何をやっているのか」を知らせる情報発信の手段を考えるべきではないか（例えば、駅にベルステージのイベントを告知するコーナーを設けてもらう、など）。

といった意見が出されました。

2班：石川さん、菊田さん、宮崎さん、清水さん、北川さん（事務局）黒松

「子育てママが集える活動」をテーマに話し合いを進めました。前回提案の3つのプロジェクトの内容が似通っていたため、1つにまとめて議論しました。ららポートで開催されている「ママの一步応援講座」の受講者も参加され、ご当地弁当を使った活動などのアイデアも出しました。



活動名	ワクワク・ファミリー広場
いつ活動するか （曜日・時間帯・季節・頻度など）	<ul style="list-style-type: none"> • 平日の昼間（15時までの幼稚園のお迎え前くらいまでの時間帯）。 • 休日はイベント的に開催。

誰に来てもらうか (ターゲット)	<ul style="list-style-type: none"> • 平日は母親と子ども、高齢者。 • 休日は父親も含めてファミリーで参加。
どんなことをするか (活動内容)	<p>〈よりみちできる・息抜きできる〉</p> <ul style="list-style-type: none"> • 毎月テーマを決めてイコママルシェ（イコマ・ママ・マルシェ）を開催（環境、育児用品、子ども向けの古本、ご当地弁当の材料など）。 • 子どもたちとシニアとの交流プログラム。 • 子育て相談、安全安心についての講習など。 • 休日には父親が参加できるイクメンイベント。 • ママたちが企画したご当地弁当の販売。 • 寒い時期はほっとワインの提供。 • ヨガやジャザサイズ（音楽とダンス）。 • 子どもや親が集う・楽しめる催しを開催する（例：トレイン乗車、スイーツ販売、ランチ、ヨガ無料体験） • 子どもを遊ばせながら、保護者が子育ての情報を交換したり発信したりできる場。
誰がやるか (協力者なども含め具体的に)	<ul style="list-style-type: none"> • 市内の子育て支援団体やシニア団体が連携する。 • 子育てサークル、公民館活動、生涯学習グループ、ヨガ教室などのインストラクター、エコネットなど関係者に声をかける。 • 帝塚山大学の子ども学科や奈良女子大（子ども臨床学科）など関連する大学の関わりも考えられる。 • 子育て支援については、ミキランドがやっている。 • 図書館イベントは、図書館と連携。 • 紙芝居は、古本屋（ひだまり）さんがつながりをもっている。どんどこ祭りの時は、社会福祉法人のモエさんが担当されていた。
活動するために必要なもの (設備や備品)	<p>〈備品として装備〉</p> <ul style="list-style-type: none"> • 暖房装置（移動できるもの） • テントやテーブル（ものを売る時に使う） • 音響設備 <p>〈活動する人が持ち寄る〉</p> <ul style="list-style-type: none"> • 遊具 • ヨガのマット
活動の上でのルール (参加者に守ってもらうことなど)	<ul style="list-style-type: none"> • 子どもが安全に過ごせるように見守り保育のスタッフが必要。
広場から周辺へ広がっていく工夫	<ul style="list-style-type: none"> • 100円商店街と合わせて広場でイベントをする。 • 南駐車場に車を停めてもらうように誘導すれば商店街を歩いてもらうことができる。 • 商店街で広場のイベントに関連したものを売ってもらう。 • 100円商店街で買ったものを広場で食べることができる場をつくる。

	<ul style="list-style-type: none"> • ご当地弁当をつくってもらえるところを探す。
私ならこう関わりたい・こういうことなら私もできそう	<ul style="list-style-type: none"> • ご当地弁当をつくる。ただし、誰がつくるか、誰が売るか(スーパー?)は検討していく必要がある。 • 育児支援ネットで活動をコーディネートする。 • 育児用品のリサイクル市をやりたい。

3班：筋原さん、堀田さん (事務局)北田、有山、辻

「朝の時間をつかった活動」をテーマに、生駒の野菜を中心とした「朝市」や、行き交う人が自然に立ち止まる「ラジオ体操」について、活動のアイデアを具体化していきました。



活動名	いこまるしえ (朝市)
いつ活動するか	朝の時間帯 (曜日を決める/不定期、どちらもあり得る)
誰に来てもらうか (ターゲット)	野菜を①買う人、②売る人 ③野菜にまつわるコーナーで遊ぶ人
どんなことをするか (活動内容)	<p>1 野菜を楽しむ</p> <ul style="list-style-type: none"> • 手づくり野菜スープを買って飲む • 野菜を使ったアート (動物をつくってみよう など) 体験 • 野菜丸かじり食べ比べ <p>2 採れたて野菜・家庭菜園でたくさんできた野菜を売る・買う</p> <ul style="list-style-type: none"> • 生駒市内でできた有機野菜をテーマに、野菜をちょっぴり販売 • 商店街の八百屋さんと同時に、「〇〇な野菜特集」(例えば商店街は大和野菜、ベルステージは生駒の旬の野菜)をお互い開くなど、住み分けしながら連携する <p>※商店街の営業の邪魔にならないように、こちらは「野菜を楽しむ」を意識する</p> <p>※販売の場所代金、販売代行などで手数料を取って、運営費を稼ぐことも可能</p>
誰がやるか (協力者なども含め具体的に)	<ul style="list-style-type: none"> • 家庭菜園をしている人、趣味で野菜を作っている人 • 青空市場団体など • 有機野菜など野菜にこだわりのある市民 (企画・サポーター)
活動するために必要なもの (設備や備品)	<ul style="list-style-type: none"> • ワゴン (おしゃれに野菜販売) • パラソル (日よけ、雰囲気盛り上げる) • シート (ピクニック気分でスープを飲む) • イスとテーブル (お年寄りがゆっくりできるように)

活動の上でのルール (参加者に守ってもらうことなど)	<ul style="list-style-type: none"> 野菜搬入時に混雑を避けるための自動車ルール 終わった後の清掃ルール
広場から周辺へ広げていく工夫	<ul style="list-style-type: none"> 「どんなことをやるか」の2を参照 商店街の八百屋さんと住み分けしながら連携する
私ならこう関わりたい・こういうことなら私もできそう	<ul style="list-style-type: none"> 口コミ、PRで広めていく パソコン・メールをうまく使って、出店の調整 朝市の傍らでわいわいと野菜を食べながら、企画サポーターミーティング→興味のある市民を巻き込んで、仲間になる人を集めていく

活動名	朝活セミナー・三文の得	
いつ活動するか	朝の時間帯	
誰に来てもらうか (ターゲット)	通りがかりの通勤・通学の人	次の①、②に興味のある人
どんなことをするか (活動内容)	<ul style="list-style-type: none"> ラジオ体操を毎日やる イベント的ではなく、自然発生的に始まり、自然に終わるイメージ 最初は、ラジオ体操お兄さんのような人と、あと数人が体操していれば、それを核として増えていくだろう 	<p>①ネイティブと話せる英会話教室</p> <ul style="list-style-type: none"> 英語で楽しくおしゃべり 朝の時間をつかってこつこつと英語を身に付けていく <p>②和の所作を身に着けるお茶会</p> <ul style="list-style-type: none"> お茶にまつわる作法を学びながら、生駒の茶室にも触れる
誰がやるか (協力者なども含め具体的に)	<ul style="list-style-type: none"> ラジオ体操お兄さんを任命 	<p>①市内の英会話サークルと一緒にやる(営業を兼ねて、コストを抑えてやってもらう)</p> <p>②茶室の団体と一緒にやる</p>
活動するために必要なもの (設備や備品)	<ul style="list-style-type: none"> ラジカセ 	<p>①イス、テーブル</p> <p>②お茶会の道具一式はすでにあるので、それを使う</p>
活動の上でのルール (参加者に守ってもらうことなど)	<ul style="list-style-type: none"> 特にない 	—
広場から周辺へ広げていく工夫	<ul style="list-style-type: none"> たまに、駅の周辺の公園や空き地で、同時に同じように音楽を流して体操するとおもしろい 	—
私ならこう関わりたい・こういうことなら私もできそう	<ul style="list-style-type: none"> ラジオ体操に参加する 	—

4班：公門さん、前原さん、山中さん、東さん、片山さん（事務局）古里、山方

「商店街のイベントとの連携」をベースのテーマにして話し合いを進めました。商店街の方以外に商工会議所やたけまるホール管理者の方がおられたので、商店街だけでなく、ベルステージ周辺の施設との連携なども含め、意見交換を行いました。



活動名	商店街のイベントとベルステージの連携
いつ活動するか （曜日・時間帯・季節・頻度など）	<ul style="list-style-type: none"> ・100円商店街は年4回（1、4、7、10月）、まちゼミといまこいバルは年2回。 ・100円商店街は朝（昼3時には終わる）、いまこいバルは夜がメイン。
誰に来てもらうか （ターゲット）	<ul style="list-style-type: none"> ・朝は年配の方が多いのでは。市内の方がメイン。 ・土日はファミリーや女性にも来てほしい。
どんなことをするか （活動内容）	<ul style="list-style-type: none"> ・あそこに行ったら何かやっているという状態が作れば。 ・商店街のイベントの前夜祭的なイベント。 ・ダンスイベントやナイトコンサート。 ・盆栽展や菊の展示など。（菊は作っている人が少なくなったが、...） ・今、100円商店街の4、10月にあわせて、ふろーらむが施設のPRイベント（スプリングフェスタ、オータムフェスタ）を行っている。場所をベルステージにしてもらうのはできるかも。 ・今やっているイベントの実況中継的なインフォメーションができれば。（例えば、バルのお店の状況を映すなど） ・他のイベントの事前告知の場などに使えると良い。別イベントの時にバルのチケット販売ブースを設置してもらうなど。
誰がやるか （協力者なども含め具体的に）	<ul style="list-style-type: none"> ・今やっているイベントは枠を広げるのは考えられるが、商店街が広がっていくのは大変な部分がある。商店街でのイベントとは別にイベントをやってもらえる人に関わってもらうことが必要。 ・自発的に参加してもらえるような、活動が活発な団体やグループに参加してもらえるといい。 ・ふろーらむ：駅前ふろーらむなど今も活動している。ただ、今以上にプラスしてというのは難しいかもしれない。
活動するために必要なもの （設備や備品）	<ul style="list-style-type: none"> ・テント（大きめのもの）、机、イス、音響設備は必要。 ・雨天の時の対策 ・テントが飛ばないように留めておくアンカーは設置される予定。（20張分） ・座るところは必要。（設備としてか、イベントのルールとして座るところを作ることを条件に定めるかなど）

活動の上でのルール (参加者に守ってもらうことなど)	<ul style="list-style-type: none"> • 屋外は、雨に悩まされる。屋外ステージの場合は土日で押さえてもらうこともある。ただ、料金設定等をどうするかなどは検討しないといけない。
広場から周辺へ広げていく工夫	<ul style="list-style-type: none"> • イベントと直接関係ない違う業種の人たちに声を掛けて連携できるか検討。 • たけまるホールで練習などされている自主学習グループの発表の場として使ってもらう。 • 周辺施設に置いてもらえるようなベルステージの利用ルールなどを示したパンフレットをつくる。 • お互いにPRしあったりするためには、情報をお互いに知っておくことが重要なので、情報共有の場をつくって、周辺施設やイベントの情報の共有ができれば良いのでは。 • たけまるホールには授乳室があり、施設利用者でなくても利用できる。近鉄にはおむつの交換スペースなどもある。それぞれの施設利用者以外の人も使えるようにしたり、そういうスペースが分かるようなもの（マップなど）を用意するのも大切では。
私ならこう関わりたい・こういうことなら私もできそう	

発表

各班の参加者から、どのような話し合いになったかを発表してもらいました。



全体でのまとめ

本日の各班の話し合いの結果について、嘉名先生からまとめがありました。

- 今後は、広場の運営の体制などを検討していく段階で、別途議論されていきます。みなさんが出したアイデアを受けて運営側でどこまでやっていけるのか、そしてみなさんはどうサポートできるのか、考えていく必要がありますね。
- 次回は最終回です。来年4月のオープンを見据えて、何をどうやっていけるのか、話しを詰めていきたいですね。

次回の開催は、来年になります。

後日ご連絡しますので、よろしくお願ひします。

●事務局・問い合わせ先

生駒市 開発部地域整備課

〒630-0288 生駒市東新町8番38号

Tel : 0743-74-1111 Fax : 0743-74-1221